

# 「支え合い・思いやり」

## 大原自治振興会の取り組み

地域で新型コロナウイルスに向き合い、解決に尽力された大原自治振興会にお話を聞きました。



▲独自に作成された偏見や差別をなくすためのポスター

### 大原自治振興会会長

おほら ひさかず 大原 久和さん

自分たちの地域で感染の情報を聞いた際は「ついに来たか!」という思いでした。

自治振興会は地域課題の解決を自主的に推進する組織であり、何ができるのかと必然的に検討しました。そして、

- ①地域全世帯への市長メッセージの配布
  - ②偏見や差別をなくすためのポスターの作成
  - ③感染した施設への協力
- という3つの取り組みを決定しました。

人口減少と高齢化に伴う独居世帯の拡大が進む中、個人に対する思いやり、地域での支えあい「利他の心」が大切だと考えます。今回の活動だけに限らず、防災や福祉の活動もより充実させていきたいと考えています。

昔からの「お互い様!」の言葉が飛び交う地域であり続けたいです。

●正しい知識と情報を地域で共有  
自分が感染症にかからなければ大丈夫、そんな自分本位の考えではなく、一人ひとりが、お互いを思いやり、自分事として考えられる、そんな『思いやりの心』を大切にされる地域、そんな理想のまちづくりをめざしておられます。

## 読書の秋にちょっと一息 ~支え合いについて考えてみよう~

自宅で過ごす時間が増える中で季節は秋。子どもと一緒に、また秋の夜長に、忙しい毎日を過ごしている方も、ちょっと一息、自分を見つめる時間を作ってみてはいかがでしょうか。



幼児・小学校低学年

### 『おおきなおおきなおいも』

●赤羽末吉/さく・え 福音館書店  
あめでのびた、いもほりえんそく。どんなおいもができたのかな? みんなでかいてみよう! おおきなおおきなおいも、どうやってほりだす? あそびには? たべちゃうときは? とってもたのしいおはなしです。



小学校中学年・高学年

### 『なみきびりょバトル・ストーリー』

●赤羽じゅんこ 他/作 さ・えら 書房  
本の紹介の発表をしてその面白さを競う「ビブリオバトル」が、並木図書館で開かれることになりました。集まった小学生4人は、性格も参加の動機も違って…。4人の作家がそれぞれのストーリーを、本当にある本を紹介しながら描きます。

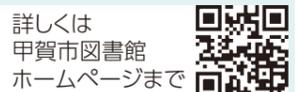
※土山図書館で10月25日(日曜)14時から、「ビブリオバトル」開催!



中学生・高校生

### 『鉄のしづきがはねる』

●まはら三桃/著 講談社  
システムエンジニアをめざし工業高校に入学した機械科唯一の女の子、三郷心(みさとしん)。コンピューター部に所属しているが、先生に頼まれ、ものづくり研究部を手伝うことになった。気が進まない心だったが、仲間たちと作業を重ねるうち「もの」をつくるおもしろさに魅了されていく。そして心はものづくりの頂点をめざす全国大会に挑戦することに…。好きな事を極めようと真剣に打ち込む姿が、文句なしにかっこいい工業系青春小説です。



市内の図書館では、インターネットでの本の予約やお探しの本を取り寄せることもできます。ぜひ多くの皆様のご利用をお待ちしています。

詳しくは 甲賀市図書館 ホームページまで

## 甲賀市国際交流協会の取り組み

### 「みんな、やさしい日本語」

- 1 あつてはならないちがいをなくす
- 2 なくてはならないちがいをまもる
- 3 ちがいを大切にする社会をつくる

これは、甲賀市国際交流協会の多文化共生と人権を大切にすることの視点です。

コロナ禍においては「外国人だから情報が届かない」ということのないよう、市と連携し、感染予防や支援に関するお知らせを外国人キーパーソンの皆さんに多言語に翻訳していただき、SNSなどで発信しています。しかし、約40か国の人が住む甲賀市において、翻訳する言語だけでは対応できません。

そこで、外国人市民の約60%以上の方がわかるであろう「やさしい日本語」での情報発信も同時に行っています。「やさしい日本語」で情報投稿すると、日本語がわかる人が自分の国の人たちに向けて、その情報を母語でシェアしてくださいます。

### やさしい日本語へのポイント

- 分けて言う
- 整理して言う
- 大胆に言う
- はっきり言う
- 最後まではっきり言う
- 短く言う

これらを心がけて、今こそ地域で「やさしい日本語」を使って「コミュニケーション」

ニケーションをとってみませんか。「コミュニケーション」こそ、今求められる支え合いかもしれません。

### インターネットの向こう側

言葉や文字だけで自分の気持ちを伝えることは難しく、対面で伝達した時と比べると割程度しか気持ちが届かないと言われています。そのような環境・状況でなおさら不確かな情報やデマが飛び交うインターネット上での発信行為は、誰かをいたづらに傷つけてしまうこともあり、慎重さが求められます。仮に確かな情報であったとしても、他者のプライバシーや個人情報勝手に公開してよいわけはありません。新型コロナウイルスによる社会問題で人権侵害を受けた方の相談を当センターでも受けていますが、このような問題で困っておられる方々の悩みは深刻です。

書き込んだことで影響を受けるかもしれない人やその周りの人たちの顔は、画面の向こうにあるため見ることはできません。SNSや掲示板など発信する機会が様々である現在においては、その内容をそのまま世に出して良いものか、一人ひとりが想像力を働かせて、人権尊重の視点をもって利用していくことが求められています。

公益財団法人 滋賀県人権センター

### もし差別事例に出会ったら

自分自身や家族が不当な差別や偏見、誹謗中傷やいじめなどの被害にあった場合はすぐに相談しましょう。

決して一人で抱え込まず、誰かに話すことで自分自身の中でも整理ができ、きつと気持ちが楽になるはず。いろいろな相談窓口がありますので、ぜひご利用ください。

### みんなの人権110番

(全国共通人権相談ダイヤル)  
☎0570-003-110  
月曜日～金曜日  
(祝日、年末年始を除く)  
8:30～17:15

### こどもの人権110番

(全国共通・無料)  
☎0120-007-110  
月曜日～金曜日  
(祝日、年末年始を除く)  
8:30～17:15

### 外国語人権相談ダイヤル

(大津地方法務局人権擁護課内)  
☎0570-090911  
月曜日～金曜日  
(祝日、年末年始を除く)  
9:00～17:00

### 新型コロナウイルスに関連する嫌がらせや中傷を受けたら

新型コロナ人権相談ほっとライン  
☎077-523-7700 (電話・FAX)  
平日  
(木曜日、祝日、年末年始を除く)  
10:00～12:00  
13:00～16:00  
※面談(要予約)もあり  
※メールでの相談もあり



### 感染への不安や日々のストレスなどの相談

滋賀県立精神保健福祉センター  
☎077-567-5010  
月曜日～金曜日  
(祝日、年末年始を除く)  
9:00～16:00

